

クラス番号	245	ゼミタイプ	サービスラーニング（NPO）型
		担当教員名	原田正樹
テーマ	知多半島の地域特性や魅力を知ろう。市民活動を通して地域社会のリアルを知ろう。		

## ゼミナール概要

### 目的、内容、方法等：

サービスラーニングはアメリカで開発された教育プログラムです。  
 サービス（地域貢献活動）を通して、「市民になる」ための力を育もうという目的です。  
 「市民になる」とは、どういうことでしょうか。  
 自分たちの暮らしている地域社会のことを知ること。地域には、様々な人たちが暮らしています。  
 普段の生活では、同じ世代の人たち、似たような境遇の人たちと過ごすことが多いわけですが、サービスラーニングでは、地域での活動を通して、いろいろな世代や境遇、国籍の人たちと出会います。  
 また地域のなかで抱える、様々な問題にも向き合います。  
 そうした問題を人任せにしたり、口先で評論するだけではなく、自分たちも汗を流し、必要なところに意見や提言をしたりしながら、積極的に住みよいまちづくりを志す人たちを「市民」といいます。  
 でも一人だけで社会を変えることは困難です。そこでそうした志のある人たちが協同して、多くの人たちと持続可能な地域社会をつくらうとしています。市民運動がとても大切です。  
 私たちは「専門家」になる前に、一人の市民として平和と民主主義を大切にできる力が求められています。

知多半島は、NPO 活動がとても盛んな地域です。それぞれの活動は違いがありますが、自分のまちをよくしたいという志は変わりません。そんな NPO をフィールドにして、自分たちが何かできるか、様々な「貢献活動」に実際に挑戦します。とても大変なプログラムですが、そこから学ぶ力は、とても大きな糧になっていくでしょう。

### 授業計画：

前期の前半は、知多半島のことを知ったり、NPO のことを知る学習から始めます。  
 後半になって、活動先が決まったところで、活動先でどんな「貢献活動」ができるのか企画を練ります。そのために活動先のことを深く理解します。活動先とも話し合いを重ねます。  
 夏に 5 日間の体験を行います。  
 後期はリフレクションを中心におこないます。活動を通して学んだことを、さらに研究を通して深めます。最後にはレポートの作成と報告会を行います。  
 こうした学びのプロセスは、他のサービスラーニング（NPO）型のクラスとも共同しながら進めます。

## 担当教員からのメッセージ

私はサービスラーニングを担当するようになって、知多半島が大好きになりました。ここには魅力的な人たちが活動がたくさんあることを知りました。学生の皆さんも、ぜひサービスラーニングを通して、地域から沢山のことを学んでほしいなと思います。きっとそのことが、3年生の実習や4年生での卒論、就活につながっていく、大きな学びの糧になるとと思います。一緒に頑張りましょう。